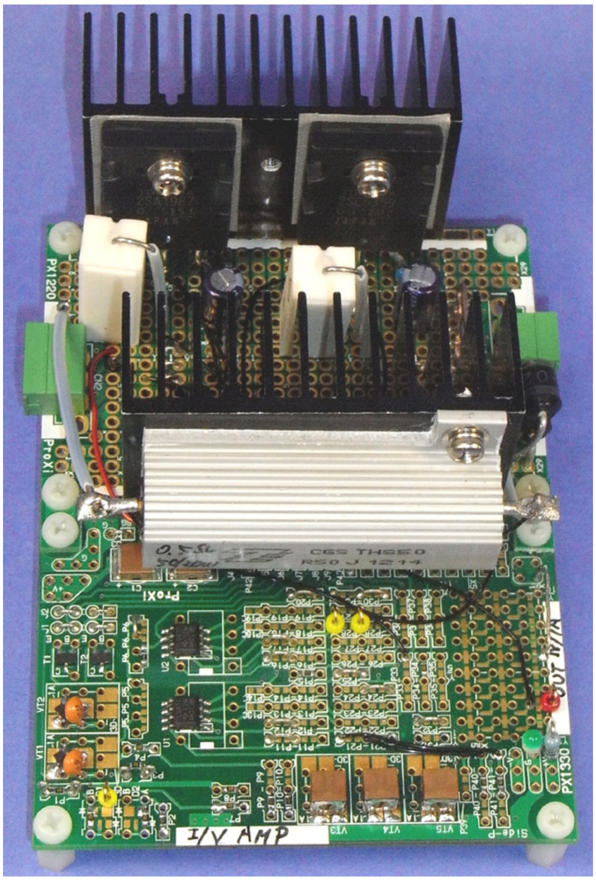
【PX1330使用例】 　電流／電圧変換器

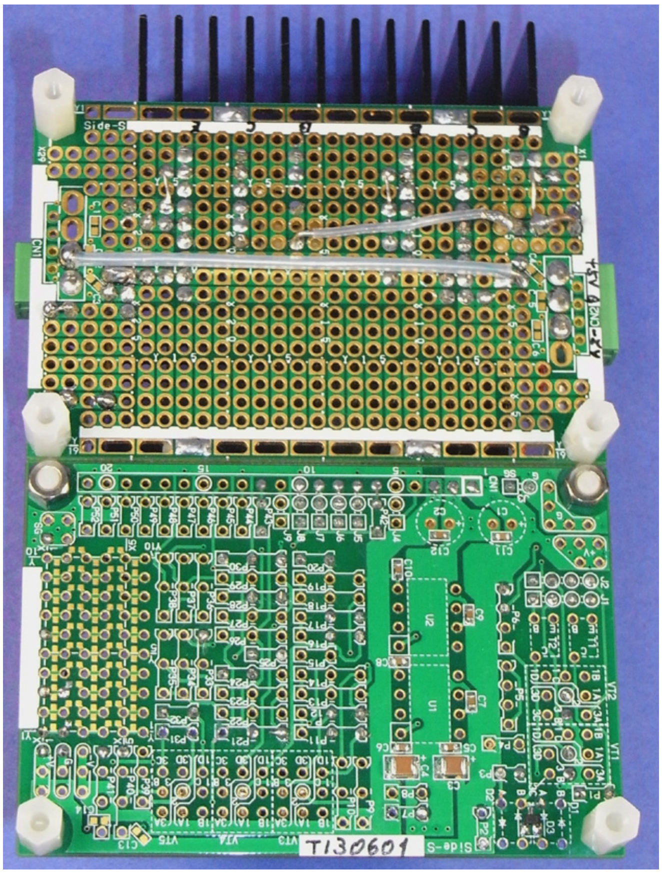
１．概要

機能・特長	装置の消費電流測定に使用可能。 入力保護、出力過電流保護回路付き。
使用オペアンプ	ＴＬ０８１ＣＤ　（テキサスインツルメンツ）
電源（＋Ｖ、－Ｖ）	±５Ｖ、各３．２Ａ
入力	０～±３Ａ
出力	１Ｖ／１Ａ　最大±３Ｖ
２Ｄ配線	１５本
備考	ＰＸ１３３０と大径スルーホール基板ＰＸ１２２０を基板ジョイントＰＸ１２４０で水平連結し、一枚基板化する事により組み立てが簡単。 各種測定器のプローブグランド接続の為に大きなグランドバーを設置。 ヒートシンクはシャーシ不使用、短時間使用を前提とする。本回路をシャーシに内蔵する場合はヒートシンクを大きくする事を推奨。

２．外観



Ｓｉｄｅ－Ｐ



Ｓｉｄｅ－Ｓ

３．回路図

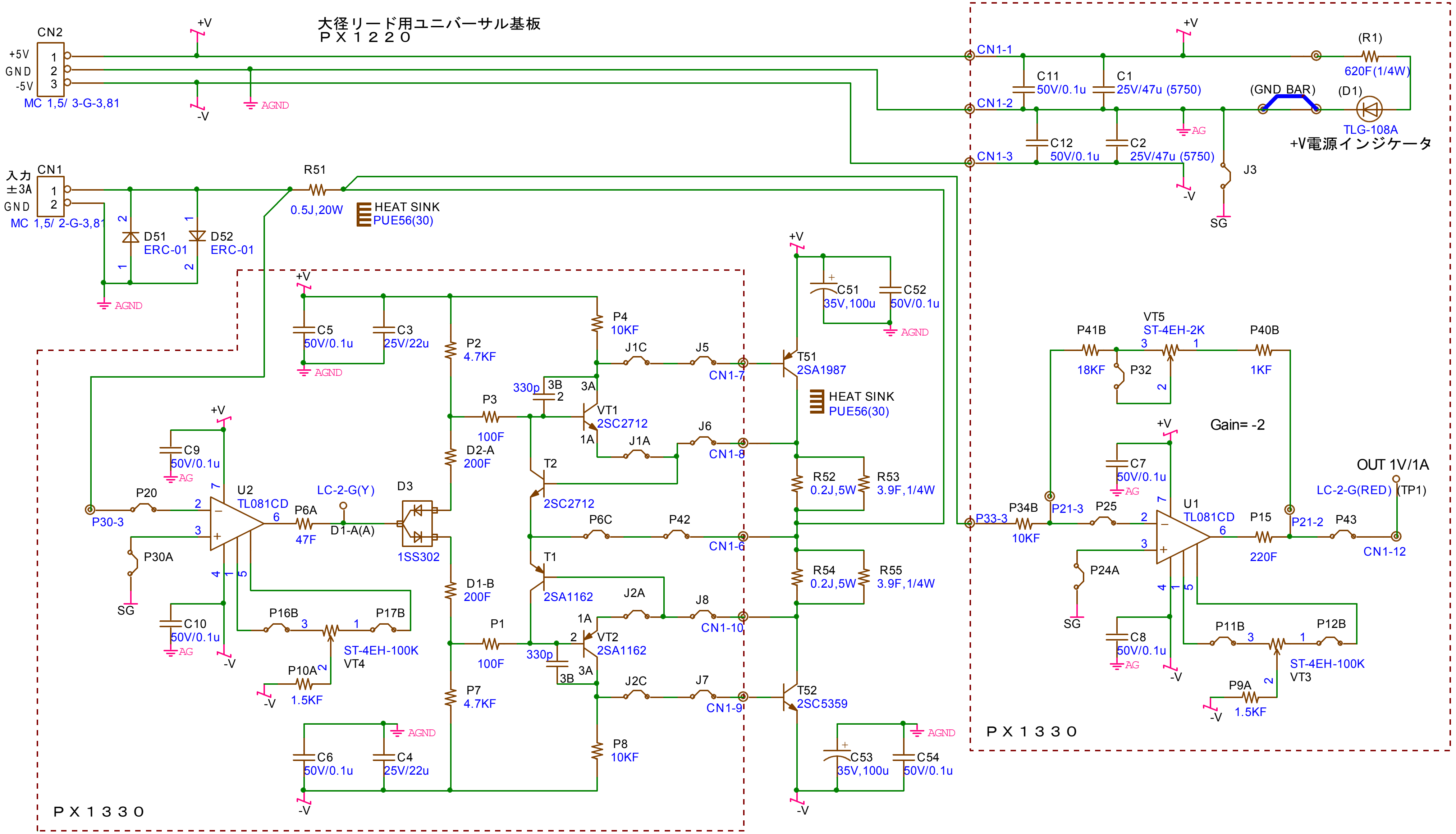
部品実装図を反映した最終形態の回路図を２頁に示します。

回路図中の部品はメーカー廃品種になっている場合があります。その場合は適宜代替品に読み替えて下さい。

４．部品実装図

テンプレートを用いて部品実装設計を行なった部品実装図を３頁、４頁に示します。

●回路図（バックアノテート後の完成形態）



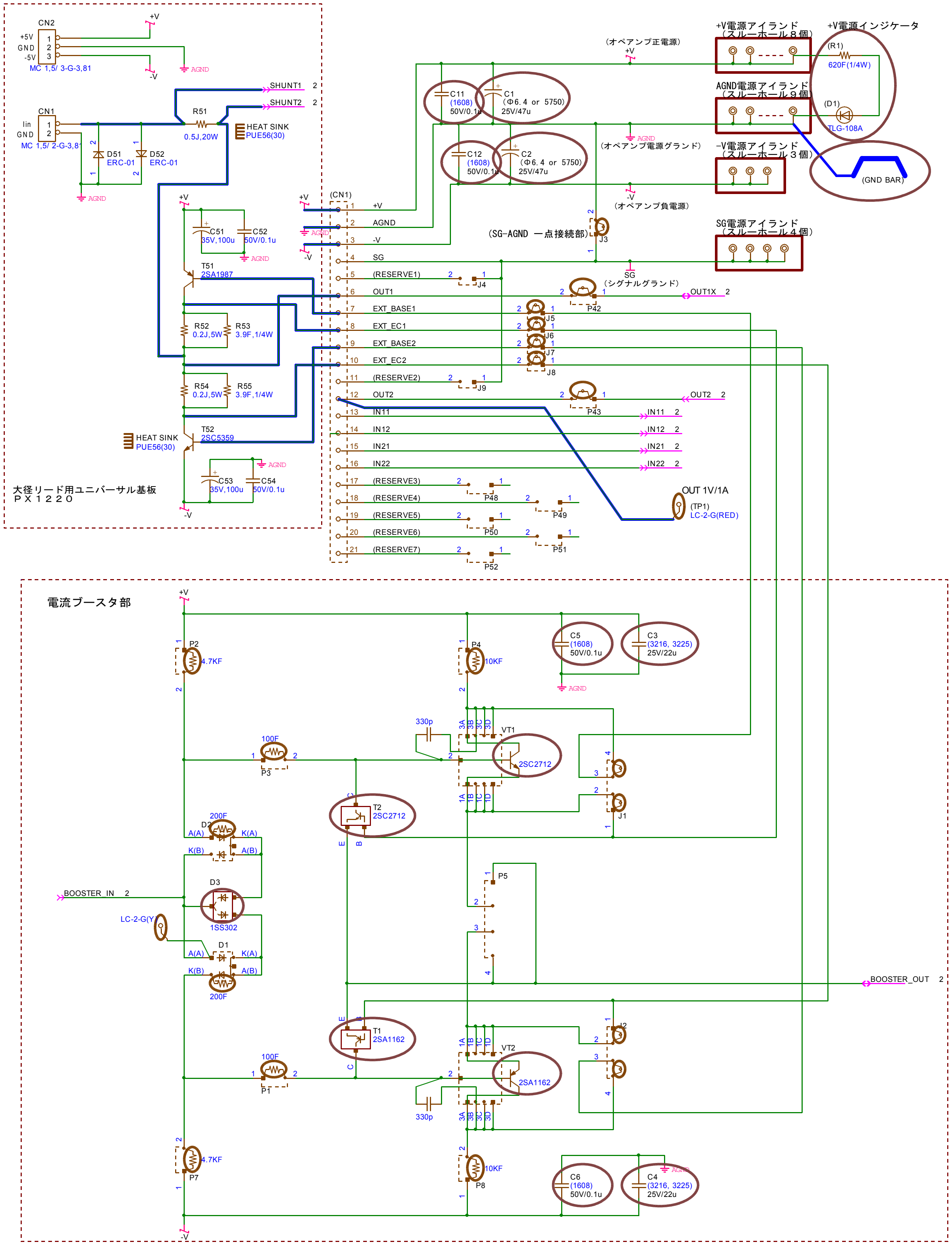
備考１：（）で囲んだデバイス番号の部品はユニバーサルエリアに実際する。

備考２：[破線枠] 内はPX1330上の回路、それ以外はPX1220上に部品を実装する。

PX1220上の部品のデバイス番号は50以上としている。

【ＰＸ１３３０使用例】　計測アンプ

●部品実装図（１／２）



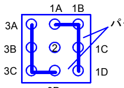
●備考１

〇 は部品実装を示す。

●備考２

━━ は２Ｄ配線を示す。

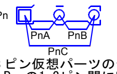
●備考３



VT1 - VT5 TOP VIEW

各スルーホール間ピッチは全て2.54mm

●備考４



３ピン仮想パーツのデバイス番号呼称について
Pn の1-2ピン間に実装したデバイスを PnA
Pn の2-3ピン間に実装したデバイスを PnB
Pn の1-3ピン間に実装したデバイスを PnC（チップ部品不可）
と呼ぶものとする。

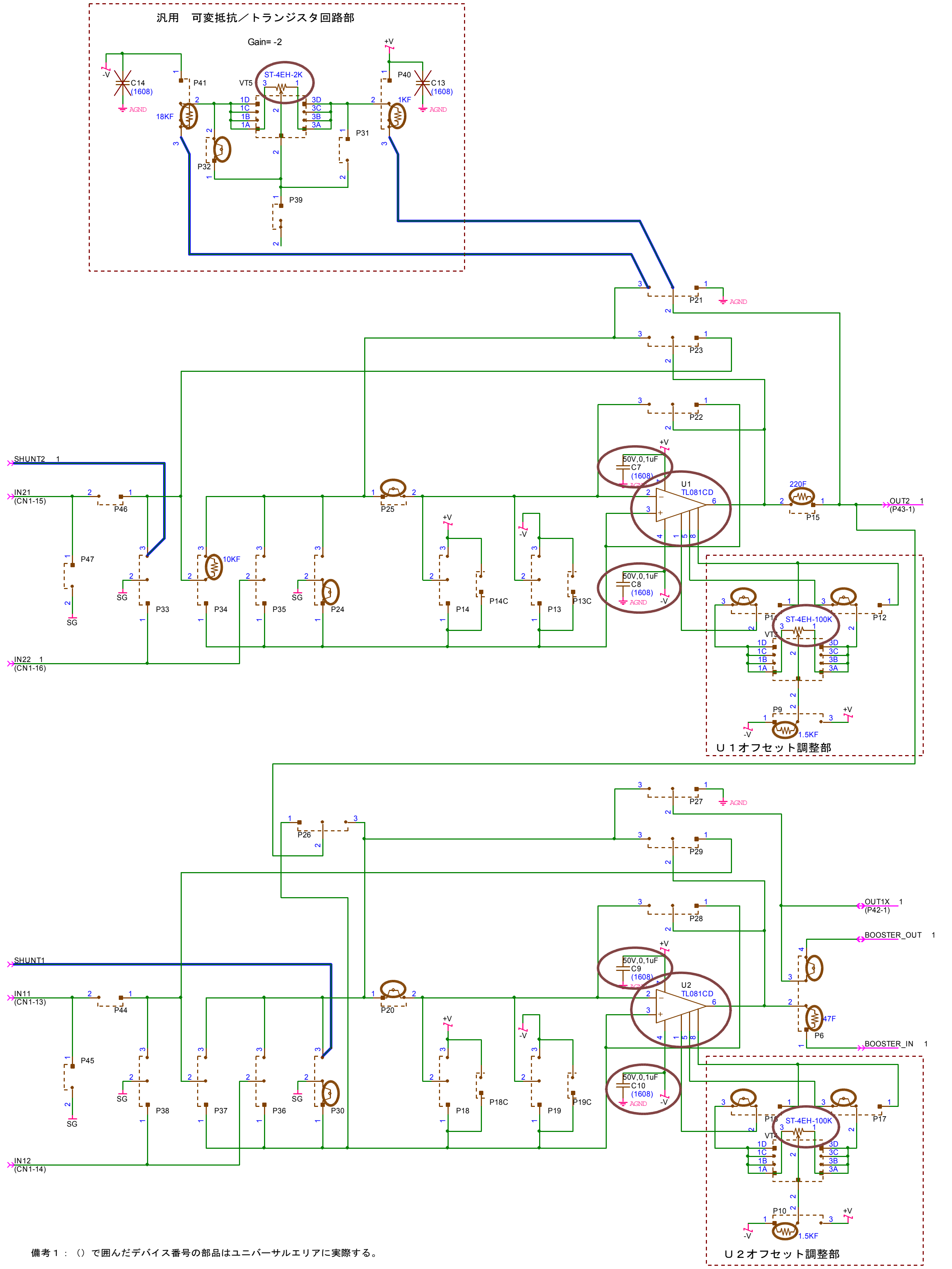
４ピン仮想パーツについても同様にPnA, PnB, PnC, PnDとする。

４ピンジャンパについても同様にJnA, JnB, JnC, JnDとする。

PX1330 (ProXi) ８ピンシングルオペアンプx２個用 部品実装設計テンプレート	
Model Name 電流／電圧変換器 部品実装図	
Title Ｔ１３０６０１	
Document Number	Page 1 / 2

(Rev. A)

●部品実装図（２／２）



備考１：（）で囲んだデバイス番号の部品はユニバーサルエリアに実際する。

実装位置	使用オペアンプ
U1	TL081CD
U2	TL081CD

PX1330　(ProXi)
８ピンシングルオペアンプx２個用
部品実装設計テンプレート

Model Name	電流／電圧変換器　部品実装図
Title	Ｔ１３０６０１
Document Number	Page ２ / ２